

公益財団法人MR認定センター

令和5年度事業計画

自 令和5年(2023年)4月1日 至 令和6年(2024年)3月31日

- センター登録企業を通じてMR認定制度を適正に推進する。
- MR認定要綱に基づいたMRの資質向上策を推進する。
- MRの基礎的知識を公正で客観的に評価するための認定試験事業を推進する。
- 業界全体の教育研修の水準が高まるよう、教育研修の認定及び支援事業を推進する。
- MR認定試験制度の抜本改革を検討し、令和8年度施行を目指す。
- MRテキスト2024を刊行し、頒布する。

※以下表示金額は、税抜き本体価格である

1. MR認定制度の推進

1) 教育研修システムの整備・管理

(1) 教育研修システムの認定および更新

① 教育研修システム(企業)の認定

新規に教育研修を開始する企業の教育研修システム(企業)の認定を行う。

・認定料:45,000円

② 教育研修システム(実施機関)の認定

個人の受験希望者が導入教育の基礎教育を受講できるMR導入教育実施機関の教育研修システム(実施機関)の認定を行う。

・認定料:100,000円

③ 教育研修システム認定講習会の実施

教育研修システムの認定更新のために講習会を実施する。

・開催日・開催地:2024年2月9日大阪、2月14日東京で開催予定

・内容:認定試験制度改正案、中期事業計画、MR認定制度の理解徹底等

・参加者:システム認定を受けた企業・実施機関の教育研修担当者

・参加費:1名につき7,000円

(2) 教育研修体制の管理

・企業の教育研修体制(3役)に変更が生じた場合は、MROで速やかに登録変更を行う。

・MR導入教育実施機関の教育研修体制(教育研修管理責任者)に変更が生じた場合は、MROで速やかに登録変更を行う。

2) センター認定企業に対する制度の推進徹底

- (1) 企業に対して MR 認定制度説明用資材を提供
- (2) 企業に対する指導基準の整備と適用
- (3) 教育研修システムの認定要件および更新要件の整備

3) 認定試験制度改定に向けた MR 認定要綱・細則の改正の準備

- (1) MR 認定要綱の改正は評議員会決議(2024年6月予定)
- (2) MR 認定要綱細則の改正は理事会決議(2024年5月予定)

2. MRの資格認定事業(定款第4条第1号関係)

MR認定要綱に基づいて MR 認定試験の実施、MR 認定証の交付及び更新を行う。
試験委員会を開催し、MR 認定試験の問題作成、合否判定等を行う。

1) 第 30 回MR認定試験の実施

- (1) 試験実施日: 2023年12月10日(日)
- (2) 試験地: 東京・大阪の2地区 [東京:現時点で未定 大阪:現時点で未定]
- (3) 受験者数: 1,200名
- (4) 受験料: 1科目 8,000円
2科目以上12,000円
- (5) 出題形式: 全問五肢択一問題とする。

2) MR認定試験問題の作成及び合否判定

- (1) 試験委員の委嘱(2023年4月1日)
 - ・委員長 : 滝川 一 帝京大学医療科学部 学部長、教授
 - ・委員(疾病と治療): 坂本 博次 自治医科大学消化器内科学 准教授
 - ・委員(疾病と治療): 嶋崎 晴雄 埼玉医科大学保険医療学部 共通教育部門 教授
- (2) 第 30 回MR認定試験の問題作成
試験委員会運営委員会にて試験問題を作成する。
- (3) 合格点の検討
正副委員長会議にて合格点を検討し、試験委員会にて合否判定案を策定する。
- (4) 理事会での合否判定
試験委員会で行った合否判定結果を理事会で承認する。
- (5) 合否結果の通知
1月末に受験者に合否結果を通知する。

3)MR認定証の交付及び更新

(1)新規交付

試験の合格、実務教育を修了並びに6カ月のMR経験を修了した者に対して認定証・バッジを交付する。

- ・交付料:2,350円(バッジ代含む)

(2)再交付

認定証の紛失、盗難、き損又は記載事項の変更等がある場合に認定証を再交付する。

MR基礎教育限定認定証を保有する者がMR復帰プログラムを終了することにより、認定証を再交付する。

- ・再交付料:2,000円

(3)更新

有効期限が2024年1月末日のMR認定証を更新する。

5年間の所定の認定研修を修了した者に対して、MR学習ポータルに掲載された更新時確認ドリルの修了により認定証を更新する。

①MR認定証の更新

- ・更新要件:所定の認定研修及び更新時確認ドリル修了者
- ・更新予定者数:約20,000人
- ・更新料:5,000円

②MR基礎教育限定認定証での更新

- ・更新要件:更新要件のうち、更新に必要な最終年度の実務教育を修了認定されていない者
- ・更新予定者数:約3,000人
- ・更新料:5,000円

4)MR認定試験制度改定案の策定

(1)試験制度検討プロジェクトを設置し、認定試験制度改定案を試験委員会に答申する。

- ・基礎教育修了試験の試験日、試験方法
- ・プール問題数、合格基準点
- ・受験料、学生割引
- ・試験時間、試験問題数
- ・実務教育修了ドリルの概要

(2)企業説明会の実施により、意見交換による制度設計と改定案周知

- ・5月18日(木)17:00~19:00 大阪、5月23日(火)17:00~19:00 東京
- ・7月12日(水)15:00~17:00 東京、7月14日(金)15:00~17:00 大阪

・9月15日(金)15:00～19:00 大阪、9月20日(水)15:00～17:00 東京

(3)日程

- ・2024年5月 試験委員会に答申
- ・2024年5月 理事会にて認定要綱・細則承認
- ・2024年6月 評議員会にてMR認定要綱承認
- ・2024年7月 認定試験制度改定案を公表(制度改定公布)
- ・2026年4月 認定試験制度改定施行

3. MRの資質向上等に関する調査研究及び広報事業

1)調査研究事業

(1)MR活動に関する実態調査(MR白書)の実施

MR数等MRの実態や企業における教育研修の現状などについて毎年度調査を実施している。基本的な調査内容に加え、今注目すべき項目を改めて検討し、実施する。結果は「2023年版MR白書」として公表する。

2)広報事業

(1)MRフォーラムの開催(総括教育研修責任者会議と同日開催)

- ①目的:MRに寄せられる各方面からの期待を聴き、MR自ら必要な変革の方向性を考える機会を創出する。
- ②開催日:2023年8月24日(木)
- ③場所:東京コンファレンスセンター品川 同時にWeb配信
- ④対象者:MR、企業の教育研修担当者
- ⑤参加費:無料

(2)総括教育研修責任者会議の開催

- ①目的:総括教育研修責任者に対してMR認定制度に対する理解徹底を図る。
- ②開催日:2023年8月24日(木)
- ③場所:東京コンファレンスセンター品川 同時にWeb配信
- ④対象者:総括教育研修責任者他
- ⑤参加費:無料

(3)大学での講義・講演

- ・東京薬科大学薬学部 医薬品情報特論

(4)学会等での展示及びシンポジウム

- ① 第144年会日本薬学会への出展を行い、薬学部学生及び教員にMR認定制度を紹介し、MR職への理解向上を図る。
- ② 第144年会日本薬学会において、医療用医薬品の適正使用の推進とMRの役

割を再認識させることを目的にシンポジウムを開催する。

(5)MR 認定試験制度改革への布石「記事広告」

2026 年度の施行を目指す新たな MR 認定試験制度への理解促進と世論の合意形成を意図した内容を記事化し、業界への認知度向上を図る。

候補の掲載媒体

①薬事日報にて年 2 回程度

②薬学生新聞(薬学生向け)年 1 回

(6)私立薬科大学学長学部長会議

12 月 8 日:制度改定を説明

(7)薬科大学キャリアセンター訪問

関東・近畿圏の私立薬科大学キャリアセンターへ、受験資格拡大の広報活動を行う。

4. MRの教育研修修了認定事業(定款第4条第2号関係)

MR認定要綱に基づいてMRに対する教育研修修了認定を行う。

1)教育研修の修了認定

(1)導入教育の修了認定(基礎教育・実務教育)

- ・企業・実施機関による実施計画の届け出
- ・センターで内容確認の上、実施計画の受付
- ・企業・実施機関による実施報告申請
- ・センターで内容確認の上、修了認定
- ・修了認定料:1申請当たり300円に教育研修対象者MR数を乗じた金額

(2)継続教育の修了認定

①基礎教育

- ・MR学習ポータルに掲載の基礎教育年次ドリルの修了で自動的に修了認定
- ・MR学習ポータルを利用しない企業は、計画の届け出、実施報告により修了認定

②実務教育

- ・企業による実施計画の届け出
- ・センターで内容確認の上、実施計画の受付
- ・企業による実施報告申請
- ・センターで内容確認の上、修了認定
- ・修了認定料:1申請当たり300円に教育研修対象者MR数を乗じた金額

(3)MR 復帰プログラムの修了認定

- ・センターは、企業がMR基礎教育限定認定証保有者に対して実施するMR復帰プログラムの内容を確認の上、修了認定する。
- ・1申請当たり300円に教育研修対象者MR数を乗じた金額

2) 実務教育(倫理教育・安全管理教育)の認定基準策定

継続教育における実務教育(倫理教育・安全管理教育)の認定基準案を策定するために企業と有識者による委員会を設置、検討会を実施し、2026年4月施行に向けて準備する。本プロジェクトでは事務局案から最終基準案の策定まで、教育研修ベンダーとアドバイザー契約を締結して進める。

- ・2023年度 事務局案策定
- ・2023年度 企業委員検討
- ・2023年度 有識者委員検討
- ・2024年度 教育研修委員会へ答申、理事会の承認を経て公表

3) MRの果たすべき役割の改訂

2026年4月施行を計画しているMR認定試験制度改革に伴い、2017年3月に改訂・発行した「MRの果たすべき役割」について、見直す。日本製薬工業協会(製薬協)および日本ジェネリック製薬協会(GE薬協)の協力を得て、2026年2月のシステム認定講習会で公表すべく進める。

【スケジュール】

2023年6月～2024年5月	製薬協プロモーション部会で改訂内容を検討 (月1回程度の頻度)
2024年6月～8月	GE薬協とのすり合わせ会議(3回程度を想定)
2025年2月	システム認定講習会で公表・頒布

5. 教育研修担当者への支援等の教育研修環境整備事業(定款第4条第2号関係)

企業が実施する教育研修の質的向上を図るために、センターは企業の教育研修担当者に対して支援を行う。

教育研修委員会を開催し、MRに対する教育研修及びその担当者への支援等教育研修環境の整備について審議し、決定する。

1) 教育研修の企画・実施に関する支援事業

(1) 教育研修推進者会議の開催

- ①目的: 業界全体の教育研修の充実強化を目指すため、企業の事例発表、ノウハウ交換等の場とする。
- ②テーマ: 「実務教育の質を高めるOJT(同行教育)を考える」とし、実務教育の目的で

ある「実践的資質の習得」を全企業で目指す。

③受講者:教育研修推進者及び教育研修関係者(約 300 名)

④開催日:2023 年 10 月 17 日(火) 対面又は web、ハイブリッドでの開催

⑤内 容(案):

・企業事例発表(4 社)

1) 営業部門と協働で取組む OJT について

2) 上長による OJT について

3) 教育研修担当者による OJT について

4) オンライン OJT について

・ノウハウ交換:事例発表内容に基づき小グループでのディスカッション等。

⑤受講料:1 名につき 5,000 円

6. 出版事業(定款第4条第3号関係)

1)MR テキスト 2024

(1) 頒布開始前後スケジュール

2023 年 10 月 電子版で内覧を行う

2023 年 12 月 紙版の予約受注もしくは購入予定数量調査の実施

2024 年 3 月中旬 紙版の発送

2024 年 4 月 電子版および MR 学習ポータルを 2024 にアップデート

(2) 紙版の頒布と頒布価格

紙版は初学者向けに位置づけて、毎年度限定数量を印刷し頒布する。在庫切れで終了とする。

毎年軽微な改訂を行い、原則従来のような正誤、追補を発行しない。

① 医薬品情報 8,000 円

② 疾病と治療 15,000 円

③ MR 総論 8,500 円

(3) 電子版の頒布と頒布価格

・毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの契約更新制とする。

・頒布価格:3 科目を 1 セットとして 1,500 円/年・1 アカウント

・改訂を反映した最新版は、4 月 1 日にアップデート

・MR 学習ポータルに搭載する MR テキストの頒布価格:1,050 円/年・1 アカウント

2)MR テキスト 2018

(1)MR テキスト紙版の頒布と頒布価格

紙版の頒布は、2023 年 12 月末日をもって終了する。

① MR テキスト 2018 医薬品情報 2,700 円

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ② MRテキスト 2018 疾病と治療(基礎) | 2,200 円 |
| ③ MRテキスト 2018 疾病と治療(臨床) | 3,400 円 |
| ④ MRテキスト 2018 MR総論 | 3,700 円 |
| ⑤ MRテキスト 2018 医薬品情報第 6 章 追補 | 400 円 |

(2)追補、正誤表の発行

法改正、制度改定、診療ガイドラインの改訂等に伴い、追補を 6 月下旬に発行する。

(3)MR テキスト電子版の頒布と頒布価格

- ・ 毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの契約更新制とする。
- ・ 頒布価格:4 種類で 1,500 円/年・1 アカウント
- ・ 追補、正誤表を反映した最新版は、8 月 1 日にアップデート
- ・ MR学習ポータルに搭載するMRテキストの頒布価格:1,050 円/年・1 アカウント

3)MR 学習ポータル

- ・ 2023 年度の基礎教育年次ドリルおよび更新時確認ドリルのリリースを 8 月に行う
- ・ 利便性の高いビューワーを開発し、2023 年 8 月にリリースする
- ・ 第 30 回 MR 認定試験の問題を 2024 年 4 月より掲載できるよう準備する。

7. 設備投資について

- ・MR 学習ポータルの利便性を高めるため、IT システムの改修に設備投資する。

以上